

Atom はオープンソースソフトウェアのテキストエディタであり、GitHub 社が主体となって開発されています。

- ・ ベースは WebKit であり Web ブラウザそのものといっても間違いありません。様々なプラットフォームで動作します。
- ・ 標準状態ではシンプルでとっつきやすいエディタです。
- ・ 豊富なパッケージを導入することで、IDE 代わりに使える軽くて強力なエディタとなります。

インストールしているプラグイン

自動補完系

autocomplete-plus

補完入力のパッケージ。打数がかかり減ってサクサク書ける。補完の確定を Tab, Enter から選べるなどカスタマイズも効く。

<https://atom.io/packages/autocomplete-plus>

autocomplete-paths

autocomplete-plus の拡張パッケージ。ファイルパスを自動補完してくれる。例えば、HTML に <script> や <link> タグを書くときに便利。

<https://atom.io/packages/autocomplete-paths>

autoclose-html

HTML の閉じタグを自動補完するパッケージ。

<https://atom.io/packages/autoclose-html>

docblockr

ブロックコメントを自動補完するパッケージ。

<https://atom.io/packages/docblockr>

UI カスタマイズ系

file-icons

ファイル形式に応じたアイコンを表示。ツリーやタブが各段に見やすくなる。

<https://atom.io/packages/file-icons>

highlight-selected

選択したワードをハイライトするパッケージ。検索の手間が省けて良い。

<https://atom.io/packages/highlight-selected>

minimap

Sublime Text のようなミニマップを表示できる。

<https://atom.io/packages/minimap>

pigments

CSS などの色コードを記述した部分はその色に着色される。色が直感的にわかって便利。

<https://atom.io/packages/pigments>

設定管理系

editorconfig

"EditorConfig" という規格の [Atom](#) 用パッケージ。
プロジェクト内で異なるエディタ間でも設定を共通化できる。

<https://atom.io/packages/editorconfig>

sync-settings

GitHub の Gist を使って全設定をバックアップできる。
初期設定が少し面倒だが、一度設定すれば便利。

<https://atom.io/packages/sync-settings>

自動テスト支援系

linter

構文チェック (Lint) のためのパッケージ。
サクサクと構文チェックしてくれる為、タイプミスもすぐ分かり、「実行したら文法エラー ...orz...」
が防げる。

構文だけでなく、タブやクォーテーションのルールを統一したいときにも役立つ。
言語に応じた Lint パッケージと組み合わせて使う。

<https://atom.io/packages/linter>

linter-eslint

JavaScript 向けの Lint パッケージ。
JavaScript 向けの ESLint というチェッカーを内部的に使っている。

<https://atom.io/packages/linter-eslint>

open-terminal-here

ファイルツリーから当該ディレクトリをターミナルで開ける。地味に便利。

<https://atom.io/packages/open-terminal-here>

カスタマイズ

行番号部分とエディタ部分 (本文) にマージンを設けたい

styles.less:

```
atom-text-editor,  
atom-text-editor::shadow {  
  .gutter {  
    margin-right: 2em;  
  }  
}
```

トラブルシューティング

Markdown Preview で日本語が文字化けする問題

Atom の [Edit] メニュー -> [Open Your Stylesheet] から styles.less を開き、
以下のように任意の日本語フォントを指定する。

```
.markdown-preview {  
  font-family: "M+ 2p";  
}
```
